

ほんご通信

第44号 (2010年6月)
発行:本郷たかし後援会
女川町黄金町13番地の2
TEL 0225(53)3509
FAX (90)3606
<http://blog.goo.ne.jp/hongo-takashi/>
E-mail t.hongo@abeam.ocn.ne.jp

『選挙の行方』

本郷 隆

今回もいきなり本題に入ります。私がある日に書いたブログと、それに対して寄せていただいたコメントについての報告です。

さる5月23日(日)に行なわれた「石巻市議会議員選挙」の結果、石巻高校の先輩で日ごろより親しくさせていただいている現職の議員が落選しました。それを受けて、私は翌24日に、以下の記事をブログに載せました。本ページ用に若干編集して紹介します。

【その先輩議員は】ブログを頻繁に更新したり、会報を発行したりして、自らの活動を市民に知らせ、市民

とともに歩んでいこうとしていたにもかかわらず、こ

のような結果になったこと、私には納得できません。今選挙は、5年前に石巻圏域

1市6町が合併して以降3回目の選挙ですが、全般を振り返って、周辺地域・旧6町からの立候補者は初回を別にして、あらかた好成績を収めています。おそらく「オラホの地域を住み良くするために、オラホの地域から議員を出さねばならない」と、候補者を限定して地域みんなで支援する、といった構図ができ上がった

いるのでしょうかね。 県下第二の都市・石巻市でさえこうなのですから、ましてや地縁血縁の強い女川にあっては、そこいらへんを十分に覚悟せねばなり

ません。

「ブログを書いたり、活動報告を配ったりしていても、それが選挙の得票につながるわけではない。次はアンタの番かもしれないね」と、妻に脅かされます。

でもその通りかもしれません：私には何が何でも投票してくれる血縁者も地域の代表感も極端に少ないですから。

女川町議会議員選挙まであと1年足らず：しつかりと心して活動せねばなりません。とはいっても、私にできることは決まっています。これまでと同じように日々の活動をブログで報告し、会報を皆さんに配達し続けることであります。

『選挙』とは、4年間の議員活動を住民の皆さんに

どのように評価してもらえるか、その通信簿だと考えます。私たち議員が一生懸命勉強し、活動するのはあたりまえですが、それを評価する有権者の皆さんの側にも『しつかりと議員を観察する』役目があるのではないのでしょうか。】

それに対して3人の方々から次のようなコメントをいただきました。

【(前略)石巻市民が「しつかり議員を観察した」結果だと思えます。

本郷さんは自信を持って、これからも活動すべきです。期待しています。】

【「しつかり議員を観察：？」している人はいったい何人いるか?!、疑問ですが、「次はアンタの番かもしれないね!」の奥様の言葉を肝に銘じて：(ちよっとキツイかな)本郷さんらしく活動を続けていけば、結果は必ず付いてくると思います。

【『初心忘るべからず』自分への戒めとしても：

かな?!】

【本郷議員さんはデビュー以来ずっと真面目に活動してきたと思います。でも、前回はあんな結果(17人中15番目)、やばかったよね。やっぱ議員活動と選挙活動は違うかもね。アピールの方法を勉強しましょう。】

それに対して、私は以下のように返答しました。

【たかさんの思い、気配りがありがとうございます。昨日は、つい感情に過ぎた文章を書いてしまいました。が、このように皆さんからコメントをいただけたこと、結果として良かったかと思えます。

自分の責任において書くブログ(もちろん『ほんご通信』も)ですから、自分の感情を表すことに躊躇(ためらい)はありませんが、いろんな方々に見ていただいている事実を意識しながら、偏らず、閉じこめられず、これからも発信していくつもりです。今後ともよろしくお願い致します。】

Q ラジオ石巻・中継用アンテナの設置を



本郷
隆議員

A 石巻市と事業者の協議状況を注視

Q 石巻市や東松島市の大半で聴取できるFMコミュニティ放送「ラジオ石巻」は、地域に密着し日々の生活情報や音楽番組を提供する傍ら、災害が発生した際には必要な情報を瞬時に伝達するメディアとして多くの人たちに利用されています。

同社は、平成18年に東松島市と、20年に石巻市と「災害時の情報協力に関する協定書」を締結しました。

石巻地域2市1町は同一生活圏域であることから、「ラジオ石巻」を聴取できることは、生活面からも災害時の避難経路の面からも、本町にとって有意義であると考えます。

石巻市日和山の電波塔から発信される電波は崎山公園で良好に受信できるとのことですので、ぜひ当所に中継用アンテナを設置して、本町内でも聴取できるようにしたいかがでしょうか。

A 企画課長 「ラジオ石巻」は、旧石巻市をエリアとして平成9年から放送を開始、地域情報や災害関係情報を伝達しています。日和山に放送アンテナがあり地形的に東松島市や桃生河南・河北地区の平野部でも受信できているようです。開局以来エリア拡大は行っており、本町では崎山公園や鷲神公園周辺で受信できると事業者から聞いています。

石巻市・東松島市とは災害情報放送の協定を締結していますが、石巻市では、合併で市域が拡大し、牡鹿・雄勝地区等で受信できていないため、事業者とエリア拡大の協議をしているようです。

災害時にラジオは有効であると認識しています。事業者からは、牡鹿地区等にアンテナが設置された場合、本町も受信できる可能性があると考えています。協議の状況を注視していきます。

防犯灯の総点検と適正配置を

Q 町内に1883基設置している防犯灯のうち何力所か電灯そのものが破損していたり、電球が切れているものがあります。防犯灯の管理・修繕は基本的に設置している行政区に委ねているとのことですが、修繕の要請がなかなか上がってこない現状があります。

そこでこの際、町として各行政区の協力を仰ぎながら、町内全域の防犯灯の総点検を行い、暗い場所については適正な器具(LED電球)に取り替えるか新設するなど、大掛かりな改修を図っていかげですか。

A 町民課長 防犯灯が設置できる場所が限られている。町民課長 防犯灯が設置できる場所が限られている。町民課長 防犯灯が設置できる場所が限られている。



街並みを明るく

町民課長 防犯灯が設置できる場所が限られている。町民課長 防犯灯が設置できる場所が限られている。

今を遡ること17年前に、週1回で延べ6ヶ月間、河北新聞に連載したエッセイの中で、現在に通じそうなものを抜粋して紹介致します。

石巻かほく（平成5年6月1日）



ある遠い海の向こうにそれはそれは小さな島がありました。四半世紀以前にはその島にも人がたくさん住んでいて、小学校も中学校も賑やかな声があふれていました。ところが国の偏りすぎた政策によって、人々はこぞって都会へ、中央へと集まりだし、その島の人口は減り続け、ついには中学校は閉鎖されてしまいました。まわりの小さな島々にも同じような現象が起こり、何人かずつと残り残された生徒たちは一つの大きな島の中学校を集められて、全寮生活をするようになったのです。

中学生といえれば最も多感な時期。精神的にも身体的にもより良い環境の中で大切に育てられなければならない時期であるはず。それが無理や親元を離され、四人相部屋の窮屈な毎日に、プライベートを奪われ、まるで囚人のような生活を強いられたのです。自分の家に帰れるのは月に二度しかなかつたそうです。当然にして小学生の数

中で島の子供たちと共同生活をさせようというのです。初めは寂しくて頼りがない都会の子供たちも（その順応力には目を張るものがあり）、海や山での生活と学習に、日に遅しく、またいきいきと輝いていったそうです（このような子供たちによって、島全体も刺激

ある遠い小島のはなし

も徐々に減ってききました。が、中学校の二の舞だけは踏むまいと、島の人は知恵を出し合いました。そうして全国の過疎地域に先駆けて『留学制度』なるものを始めたのです。島の人たちが里親になり、県内はもとより遠く大阪や東京あたりから、毎年数人の児童を迎え入れて、豊かな自然の

この『留学制度』は教育の一つのあり方として、各方面から注目され、テレビ等で取り上げられたこともあって、最近では各地で『山村留学』『牧場留学』等の言葉を耳にするようになりました。

遠い海の向こうの島：私は瀬戸内海に浮かぶその小島で生まれ、その小学校を卒業しました。

（本郷隆・女川町金曜会会員）

この3月末に女川町で、三小・六小・四中の三校が統合により廃校したことに関連づけて、この記事を紹介しました。なお、私が卒業したこの野忽那小学校は、平成21年3月末で留学制度を終了し、131年の歴史に幕を降ろしました。

主な議員活動（12月定例会～3月定例会前）

- * 12月14日～17日 12月定例会（一般会計及び各種特別会計の補正）
- * 22日(火) 原発対策特別委員会
- * 27日(日) 第28回 女川町水産まつり 開会行事

- * 1月 5日(火) 地方卸売市場初売手締式 消防出初式
- * 6日(水) 新春年賀の会(華夕美)
- * 8日～13日 議会広報編集委員会(議会だより120号の編集)
- * 10日(日) 平成22年度 町成人式（生涯教育センター）
- * 13日(水) 原発対策特別委員会…一号機の耐震バックチェックの中間報告 評価経過の説明
- * 17日(日) 町体育協会・スポーツ少年団本部 合同表彰式（ホテル華夕美）
- * 21日(木) 議会広報編集委員会(議会だより120号の最終校正)
- * 22日(金) 総務企画常任委員会・所管事務調査…合併の検証(亘理町議会)
- * 25日(月) 県町村議会議員講座（鳩山政権と2010年の政治～NHK解説委員 神志名 泰裕）
- * 27日(水) 2市1町 特別職管理職等研修会…日本体育大学教授 具志堅 幸司
- * 31日(日) 国によるプルサーマル説明会（町生涯教育センター）

- * 2月 1日(月) 第1回 臨時会
- * 13日(土) 町家庭バレーボール協会・総会(金華楼)
- * 14日(日) 青少年健全育成推進大会…「eネット安心講座」（町生涯教育センター）
- * 17日(木) 原発対策特別委員会 議会広報編集委員会 総務企画常任委員会
- * 20日(土) 石巻広域企業誘致協議会 研修会…「宮城県における企業誘致の近況と展望」（伊藤副知事）
- * 24日(水) 議会運営委員会 議員全員協議会(3月議会の議案説明)

編集後記

この3月末に、次男が千葉県・我孫子市に引っ越し、ついにわが家は夫婦と父の3人住まいになってしまいました。今までの食事は、私たち熟年用の魚と野菜の煮物系、それに若者用の肉類が加わっていたのですが（それなりに妻の手を煩わせていた）、この春からはいわゆる精進料理並みに、肉系・脂系が少なくなりました。

この5月中旬より6月初めまでの3週間、長男が『教育実習』で女川一中に通っているため、以前の食事が復活しました。もちろんそれだけでなく、会話や笑いや賑やか感もです。が、これもつかの間、この会報を皆さんにお届けする頃には、長男は埼玉県・越谷市に帰り、わが家はまたしても大人だけの暮らしです。学生がいない分、朝の用意がゆつたり目になったり、平日にそろって出かけた（自営業の特権ですね）と、確かに良い面はありますが、やっぱりある種の物足りなさを感じます。

子供たちの声が響いていたあの頃の我が家が妙に懐かしい今日この頃です。

